

ドイツ・ピアノ界の巨匠、再び!

ゲルハルト・ オピッツ ピアノ・リサイタル

前回の名古屋公演は完売!
熟練の境地、ピアノ芸術の真髄をここに――。



ベートーヴェン/
ピアノ・ソナタ 第15番 二長調「田園」
第18番 変ホ長調
第26番 変ホ長調「告别」
第21番 八長調
「ワルトシュタイン」

2009 **11/15** (日) PM1:30開演 **愛知県芸術劇場コンサートホール**
S¥7,000 A¥6,000 B¥5,000 C¥4,000 学生¥2,000(税込)
主催: 中京テレビ放送 企画・運営: 中京テレビ事業

お問合せ
お申込み **中京テレビ事業 ☎052-957-3333**

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTVビル6F(旧有楽河合ビル) (月~金 AM9:30~PM5:30/土・日・祝日休業)
ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込みください。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様でお申し込み致します。
※プログラム内容等変更になる場合がございます。予めご了承ください。※未成年児童のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

<http://cte.jp> ★インターネットからもお申込み頂けます!★

チケットぴあ (Pコード: 321-012) 0570-02-9999 イープラス eplus.jp
愛知芸術文化センター-PG 052-972-0430 ローソンチケット (Lコード: 45261) 0570-084-004
栄プレチケ92 (旧三越PG) 052-953-0777 中日サービスセンター(中日ビル1F) 052-263-7282

学生券

チケット発着所

GERHARD OPPITZ

ゲルハルト・オピッツ(ピアノ)

Profile

ゲルハルト・オピッツはドイツ・ピアノの正統派を代表する演奏家として国際的にその名を知られている。音楽解釈におけるこの楽派の流れは、オピッツ自身の師であるヴィルヘルム・ケンプに繋がっており、そしてその源流は、リストやベートーヴェンにまで直接遡る。

1953年、バイエルン州に生まれ、5歳のときにピアノを始めた彼は、11歳で早くも公式の場でモーツァルトの二短調協奏曲を演奏した。その際に演奏を聴いたシュトゥットガルト国立音楽大学の教授パウル・バックに見出され、1974年、ミュンヘンに移り住むまで、彼の元で研鑽を積む。

1973年ヴィルヘルム・ケンプと出会い、教えるようになった彼は、ケンプから主にベートーヴェンのソナタと協奏曲について学んだ。師のケンプは、自身の解釈との著しい相似性に感服、彼の遺志により、オピッツは後継者として音楽的伝統を引き継ぐこととなった。

1977年、第2回アルトウール・ルービンシュタイン・コンクールで第1位優勝。この優勝により、一躍、世界的に脚光を浴びる。翌年には、名門ドイツ・グラモフォンより最初のレコードをリリース。1981年、ミュンヘン国立音楽大学で開校以来最も若い教授となる。これまでに、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団をはじめ、バイエルン放送交響楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団、ボストン交響楽団、フィラデルフィア管弦楽団、クリエヴァンド管弦楽団、ピッツバーグ交響楽団等のオーケストラ、カルロ・マリア・ジュリーニ、リッカルド・ムーティ、ロリン・マゼール、ズービン・メータ、サー・コリン・デイヴィス、ヴォルフガング・サヴァリッシュ、ホルスト・シュタイン、サー・ネヴィル・マリナー、ヘルベルト・ブロムシュテット、ドミトリー・キタエンコ、ガーリー・ベルティーニ等の指揮者と共演している。近年はリッカルド・ムーティの信頼厚く、各地で共演を重ねており、2006年6月には、ウィーンの楽友協会大ホールでバイエルン放送交響楽団と、2007年1月には、ニューヨーク・フィルハーモニック定期で共演をし、ニューヨーク・タイムス等で絶賛された。バッハからブルーレスまで幅広いレパートリーを持つが、特にシューベルト、ベートーヴェン、モーツァルト、バッハ、グリーグ、ブラームスのピアノ作品全曲を重要なレパートリーとしている。とりわけベートーヴェンとブラームスに関しては、世界最高の演奏者の一人として高く評価されており、世界各国で、ベートーヴェンおよびブラームスの全曲演奏会をたびたび行っている。

これまでに発売されたCDは既に30枚を超え、過去10年間BMG/RCAと専属契約を結んでレコーディングを行った。その中には、ベスト・セラーとなったブラームスのピアノ曲全作品集、コリン・デイヴィス指揮バイエルン放送交響楽団とのブラームスおよびウェーバーのピアノ協奏曲集、グリーグのピアノ曲全作品集、マレク・ヤノフスキー指揮/ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団とのベートーヴェンのピアノ協奏曲集がある。2005年には、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全32曲の収録を終え、日本でも全曲アルバムがリリースされたところである。

日本では1994年、NHKテレビのゴールデン・タイムで通算7時間にわたって放映されたベートーヴェン・ソナタ集の演奏およびレッスンが、爆発的人気呼んだ。2005～08年にわたり日本で開催した「ベートーヴェン・ソナタ全曲演奏会」は、彼自身日本で初めての試みであり、大絶賛のうちに終了した。現在はシューベルトの録音に取り組んでおり、2010年より日本において「シューベルト・チクルス」を開始する予定である。親日家でもあり、日本で最も人気のあるピアニストの一人である。

Message

私は以前から愛知に行く度に愛知の人々から受ける温かなもてなしに感激していました。また名古屋の郷土料理の魅惑の世界にもいつも感心させられます。

また再び私のベートーヴェンの音楽に対する情熱を、この名古屋の美しいコンサートホールで音楽愛好家の皆さんと分かち合えるのを今から楽しみにしています。

Since a long time I have been enthusiastic about the warm hospitality with which I have always been received by people in Aichi-ken, enthusiastic as well about the magic world of Nagoya cuisine. Now I am looking forward again to share my passion for Beethoven's music with music lovers in the beautiful concert hall of Nagoya.

ゲルハルト・オピッツ

